

2022年(令和4年)3月26日 土曜日

720万円、奨学金に活用を 国際クラブが羽島市へ寄付



松井聡市長に目録を手渡す(左から)青山るみ代表理事、青山英世代表理事ら＝羽島市役所

羽島市の「国際クラブ」は、学費の支払いが困難な市内在住の高校生を持つ家庭に支給される市奨学金と

して、720万円を市に寄付した。

同クラブは2004年から市奨学金の一つ、「青山奨学金」として寄付を続けている。コロナ禍の厳しい経済状況と同クラブが今年、創設90周年を迎えることから、例年より寄付金を増額した。

同クラブの青山顔名誉会長と青山るみ代表理事、青山英世代表理事が市役所を訪れ、松井聡市長に寄付金目録を手渡した。

青山英世代表理事は「修学の一助になれば光栄。これからの時代を担う生徒たちの成長を祈る」とあいさつした。松井市長は「コロナ禍で生活に困窮する家庭は多い。愛の手を差し伸べてもらい、深く感謝する」と述べた。

22年度は対象者20人に、1人当たり36万円が支給される。(長尾剛次)